

都城市議会議長 様

提出日 平成 30 年 5 月 25 日
進政会 代表 荒神 稔

研 修 報 告 書

以下のとおり研修の報告をいたします。

1 所属会派名及び視察者名

進政会（荒神稔 長友潤治 中田悟 川内賢幸 赤塚隆志 山内いっとく）

2 研修名

会派進政会の新人議員加入により管内の特色ある整備事業や施設等の視察研修

3 受講場所

都城市（早水町，山之口町，高城町，大岩田町，山田町）

4 受講期間

平成 30 年 4 月 26 日（木）
9 時 00 分～17 時 00 分

5 研修内容

今回の改選に伴い会派構成も大きく変わった為、管内施設の事業状況及び進捗状況を確認し、それぞれの課題を会派内で共有し今後の政務活動に役立てること。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ①早水アリーナ・弓道場 | (市職員説明・スポーツ振興課長他) |
| ②山之口正近処分場 | (シルバー人材説明・当日当番者) |
| ③山之口運動公園・周辺市営住宅 | (現地視察) |
| ④街区三股線道路改良 | (現地視察) |
| ⑤高城穂満坊工業団地 | (現地視察) |
| ⑥桜木工業団地予定地 | (現地視察) |
| ⑦大岩田最終処分場跡地 | (市職員説明・環境施設課長他) |
| ⑧都城クリーンセンター | (市職員説明・担当者) |

6 研修の感想

別紙（個別）

7 研修の成果及び市政への反映

別紙（個別）

8 添付資料

別紙

1 視察の感想

① 早水アリーナ・弓道場について

○早水公園整備事業は平成 31 年度の工事完了予定であり、サブアリーナ工事の完了は、平成 30 年 6 月末を予定である。

9 月に各団体のオープニングイベントを開催し、10 月 1 日から供用開始となる。駐車場も完備してあるが、公共交通体制の利便性はどうか？

○本市の地の利を生かした後方支援としての役割で防災活動拠点・後方支援拠点の整備防災公園の整備は、南海トラフ巨大地震等の甚大な被害を想定された整備事業に感謝。（単独事業では不可能）

○昨年度、完成した弓道場の玄関ロビー床工事に疑問を感じた。

○弓道場施設と隣接する民家への安全対策を早急に配慮を感じた。

② 山之口町正近一時集積場について

○特殊な管理システムであり、管内に同施設が存在するのだろうか？

③ 大岩田最終処分場の跡地利用について

○大岩田最終処分場埋立地有効活用事業は、「都城市南部ふれあい広場」（仮称）は、平成 31 年秋にオープン予定と説明を受け地元の管理運営と南九州大学の関わりがある施設に期待をするが、地元の管理運営には限界を感じ、今後の協議内容を見守りたい。

④ 都城市クリーンセンターの現状について

○可燃ゴミの受入れ実績が年々減少の説明を受けたが、分別の取組み結果と人口減少が要因か？と思った。

○売電収入の使途が気になった。

2 研修の成果及び市政への反映

*ハード整備事業の取組みができることは、国・県と連携した取組要望活動の努力がこの成果となったことを痛感した。

*山之口町「正近・処分場」の今後の在り方と方向性が必要ではないか。

*企業誘致には、本市への人口減少対策に大いに期待したい。

1、早水公園アリーナ及び関連施設

現在建設中のアリーナの工事進捗状況をスポーツ振興課長及び既存施設の改修状況についてスポーツ振興課職員より説明を受け、その後施設を見学した。アリーナ建設に伴い既存体育館の改修が施され、機能性が高められている。また既に完成し供用されている新弓道場も見学した。弓道場本体は十分な広さが確保され機能的であると感じた。しかしエントランス床のクラックの状況が酷く現状で放置しておくことは問題であり改修の必要があると考える。

2、山之口正近処分場

旧山之口町のごみ処分場であるが、既に一般ごみの埋却処分場は閉鎖されており現在では不燃物やリサイクルごみの集積所として活用されており、シルバー人材センターに管理運営が委託されている。

3、山之口運動公園及び周辺の市営住宅

県営陸上競技場が山之口運動公園へ整備が決定したことに伴い今後考えられる課題等の研究の為現地を視察した。特に移転等の影響の大きい周辺の市営住宅については住民への丁寧な対応が求められると考える。

4、街区三股線

車中から現地を視察。

5、高城穂満坊工業団地及び桜木工業団地予定地

高城穂満坊工業団地を車中より見学し、その後今後整備が進められる桜木工業団地予定地を視察した。

6、大岩田最終処分場

今後整備が進められる大岩田最終処分場跡地利用について環境施設課職員により現地にて説明を受けた。

施設整備後は地元が管理団体を設置し管理運営をする計画となっている。また施設の花畑については南九州短期大学の管理計画に基づき整備が進められる計画である。

7、山田クリーンセンター

現在稼働している山田クリーンセンターの事業運営状況について現地にて説明を受け、施設内部の視察を行った。

① 早水アリーナ・弓道場

アリーナと弓道場について、担当のスポーツ振興課より建設の進捗状況と完成後の運営等について説明を受けた後に外観を視察した。大会を誘致して利活用を進めていくとの説明があったが、駐車場の駐車可能台数については混雑の発生が懸念された。大きな大会開催時に参加者と観客にスムーズなアクセスと駐車が可能になるよう再度、検証していくべきだと思った。

② 山之口正近処分場

施設の維持管理状況を視察し、担当者より説明を受けた。資源ごみなどの搬入受入れをしているが、各自治会との兼ね合いがどうなのか、自治公民館の意向も調査してみたいと思った。旧市内には無い施設であるが、地域の実情を踏まえて今後の在り方、施設の必要性を検討していく必要があると思った。

③ 山之口運動公園

国体開催に向けた陸上競技場建設予定地となり、現運動公園を視察した。陸上競技場の大まかな配置箇所を見たが、現在の公園は起伏にとんでおり、建設の際には平坦に造成することだった。駐車場の確保が何よりの課題だと思う。また、高速道路のスマートインターでの渋滞や一般道からのアクセスにおいてもスムーズなアクセスが出来るよう近隣市道の改良も必要ではないかと思った。

④ 街区三股線道路改良

一部工事が進んでいる状況で、今後は2本の橋梁工事に入る予定との事だった。山之口・三股からの医師会病院へのアクセス道路として大きな効果があると思うので早期の供用が望ましいと思った。

⑤ 高城穂満坊工業団地

新たな企業の建設工事が行われていた。縫製関係などの多くの雇用を生む企業の誘致が望まれるが、今後は臨時或いはパートなどの雇用形態ではなく、正規雇用の企業誘致が人口減少の歯止めになるのではないかと思った。

⑥ 桜木工業団地予定地

予定地は埋蔵文化財の発掘作業が行われていた。インターに近い利便性があり、企業立地の期待がもてる場所だと思った。企業誘致に関して全般的な事であるが、正規雇用の企業誘致に向けた取り組みが望まれると思った。

⑦ 大岩田最終処分場跡地

担当者より公園建設の概要と処分場の当時の埋設物の影響についてモニタリングの状況を聞いた。面積も広く、パークゴルフ場や多目的芝生広場を計画しているとのことだった。維持管理としては地元と契約して行うとのことだったが、面積の広さと年間を通しての維持管理を考えると、地元での人員確保の点で不安が残った。維持管理や子供などの安全面について充分検討してもらいたい。

⑧ 都城クリーンセンター

担当者より稼働開始から現状について施設を見ながら説明を受けた。稼働時から現在まで事故もなく順調に機能をはたしているとのことだった。大規模な予算を投じた施設であるので長寿命化の為に、市民のゴミ減量化に向けた全市的な取り組みが必要ではないかと思った。

1 視察の感想

今回の管内視察では、今後の本市の在り方に関わる主要な施設等を視察した。早水アリーナ等については、高校総体や弓道大会はもちろんのこと、その施設規模からも本市の運動施設として中核を担う施設になると改めて理解するとともに、その活用等については無駄のないように取り組む必要性を感じた。あわせて、上長飯鷹尾通線についても、周辺のまちづくりとの兼ね合いから、整備への期待が持てた。

山之口の正近処分場、県立陸上競技場予定地、街区三股線については、それぞれ資源ごみの分別状況の確認、県立陸上競技場予定地の敷地概要と周辺部の影響、街区三股線では新たな交通インフラ整備を確認した。

桜木工業団地では、29haという広大な予定地を目の当たりにしその規模に期待を抱くと同時に、その活用誘致には相当な取組が必要であるとも感じた。

大岩田最終処分場跡利活用では、設備完成までのタイトなスケジュールに不安を感じたが、土地の持つ特性から大規模な改修ができないとの説明もあった。地域に根差した施設となりうるもので、大いに期待したい。

山田クリーンセンターでは、稼働から数年が経過した施設の状況を確認でき、搬入の様子やペット預かり所の在り方など改めて考えさせられた。

全体を通じて、本市の持つこれからの施設について会派として研修でき、議員としてそのあり方、活用を考える機会となった。

2 視察の成果及び市政への反映など

成果としては、すべてにおいて言えるが現状を目で確認し、議会議決を通して決定した事業の進捗や利用状況を確認できたことが大きい。

早水アリーナでは、施設自体のポテンシャルの高さを改めて感じるとともに、サブアリーナ等の完成に合わせてより一層本市のスポーツ振興に活気をもたせることが期待できた。

一方で、年間を通じてのメジャーな使い方や市民により近い施設となるようにその活用についてはこれまで以上に取り組む必要性を感じた。

山之口の県立陸上競技場予定地では、施設の現状から改めて大規模工事への期待と不安があった。基本計画の発表見据え、議会として市政に混乱のないように市民、地域との連携を図る必要がある。また、正近処分場での資源ごみの受け入れについては、公民館未加入者が資源ごみを可燃・不燃ごみとして出している現状に鑑みれば、本市のとして資源ごみステーションの増設を検討するところに来ているのではと感じた。この他、街区三股線では工事進捗を確認し、医師会、北消防署と直線とつながる命の道、防災の道としての役割の重要性を確認できた。

高城桜木工業団地予定地では、図面で見ると以上に現地の広大な敷地に驚いたのが実情である。この規模の団地をいかに素早く埋めていくのか、本市の経済、雇用にとって魅力ある企業を誘致できるかが求められてくる。そのあたりの取組については、これまで以上に緻密で踏み込んだ政策も必要となると感じた。

大岩田最終処分場跡については、パークゴルフ場に加え、花畑や多目的広場が整備されるとあって、地域の期待も高いと感じた。一方で、広大な敷地を芝や花畑の管理に相当な配慮が必要であるとも感じた。周辺の農地への配慮や施設配置の在り方等、実際の利用が始まってからの問題も想定しておく必要があるように見えた。

山田クリーンセンターについては、利用開始のきれいな頃に視察して以来ということもあり、現在の稼働状況を見ることができてよかった。実際の搬入状況や焼却の様子、ペットの亡骸預かり場所等を確認ができ、職員の方々の苦労も確認できた。施設としては、売電も含めて順調には見えたがごみの分別からくる施設の負荷の問題もあり、年々課題は増えるように感じた。

今回の管内視察研修を通じて、始まりから経過、課題の把握と解決、といった流れを定期的に把握することで、見えてくる諸問題への取組を考えることができた。今回の研修では訪れなかった、多くの施設等についても以上のような視点により、市民により使いやすい、開かれたものとしていくために研修を重ねていきたい。

視察の感想

- ① 早水アリーナ・弓道場・・・弓道場については完成したての施設で全体的に綺麗で独特のレイアウトが印象深かった。投射された矢の防御について若干不安が残った。早水アリーナについては、工事中であり、全体像がまだ捉えにくかったが、南海トラフ被災支援基地としての役割に期待する。
- ③ 山之口運動公園・・・既存の施設1棟を除きすべてフラットに造成する計画には驚嘆した。また、民間の立ち退きがほとんどなく、計画遂行に支障がないことも特徴的だと感じた。地域に対する経済効果も併せて国・県の計画等注視していきたい。
- ⑤ 高城穂満坊工業団地・・・既に2区画を残し稼働している状況であるので、地元に還元する経済効果に期待したい。
- ⑥ 桜木工業団地予定地・・・調査の段階で、全体像が掴みにくいせいもあり、広さと整備後の状況が解りづらかった。早期に着工できるよう期待したい。
- ⑦ 大岩田最終処分場跡地・・・不適格処分場という、誤解されやすいネーミングには驚いたが、過去、基準を超える数値が出たことはないとの説明に安心したが、今後、引き続き調査を義務づけられ基準を超えた場合、利用の中止があることに不安を覚えた。また、計画は確定しているようであったが、トイレ等住民サービスに足りない部分も感じられた。また、完成後の管理運営に地元公民館の有志に委嘱する計画だそうだが、市内各地の公民館の状況を鑑みると若干不安が残った。
- ⑧ 都城クリーンセンター・・・特に問題なく稼働している状況であった。発熱による発電・売電にはランニングコストやイニシャルコストの回収に期待しうるものであった。また人件費削減で委託事業としてあり、将来の施設補修等のコストについて注視していきたい。

研修の成果及び市政への反映等

既に稼働している施設、計画段階ではあるが既に執行に入っている施設、これから更に計画を積んでいく施設等様々であったが、根本、市民生活に寄与する計画であることが大事であると感じている。市民サービスに対して不足であったり、また過剰なものである場合、また費用対効果があまりにも少ないものである場合等、躊躇なく議会として市に対して論議して行くべきであると思う。

研修の感想

初めての視察研修で、現地を見て話を聞きことの大切さをあらためて感じた。しかし、研修や視察の結果がすぐにできることは難しいが、議員として説明責任を果たせるように少しでも多くのものを得なければならないと思った。

研修の成果及び市政への反映

成果及び市政への反映としては、都城管内の施設を訪れ、直接現地を見て担当者等から説明を受けることで、より現状を理解することができた。そして、今後もこれらの施設に関する予算審議が行われることになるが、より深く判断できるようになったのではないかと考える。また、以下の点について政策などへ提言ができるのではないかと考える。

①早水アリーナについて

綾町のてるはドームがバレーボールコートを8面とることが可能であるが、早水アリーナでも、メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、多目的室の施設を使用してバレーボールコートを8面とることが可能となり、宮崎県内では最大規模となる。そのため合同合宿や大会の誘致などでスポーツの活性化及び地域の活性化を図ることができる。市では合宿等の宿泊補助事業なども行っており期待できる。さらに、弓道、空手、レスリングなどの大会などの会場としても期待でき、さらなるスポーツの活性化政策を期待したい。

また、防災拠点都市としての機能も備えるため、都城志布志道路との関連もあり、利活用の在り方を検討していきたい。

②山之口運動公園について

宮崎国体に向けて、山之口運動公園には、県の陸上競技場が建設される予定であり、活性化に期待できるところである。しかし、宿泊の問題や国体終了後の施設活用など多くの課題が今後でてくることが予想できる。これらの課題に向けて政策提言を行っていきたい。

③高城穂満坊工業団地・桜木工業団地予定地について

工業団地整備事業は今年度の予算審議の中でも産業経済委員会の中で議論した経緯がある。課題として予定の雇用人数より現在の雇用人数が少ないことによる見込みの甘さがある。また、都城市の現在の求人倍率が2倍を超えており必要性についても課題として挙げた。しかし、私は雇用の場を作る目的として、この事業は未来に向けて必要と考えるため、課題として挙げた内容をしつかりと見極めていきたい。

④大岩田最終処分場跡地について

多目的広場では、totoの補助を受け、サッカー場が2面つくれる芝生が整備される。都城には人工芝の施設がなく近隣の市町村の施設も利用して大会を開催している現状がある。また、上質な芝生のグラウンドにするためには、高度な管理が必要であり、近隣公民館に管理を委託することを考えると芝生の状態に課題がでてくることが予想される。そのため人工芝の方が高い費用対効果を得られるのではないかと考えるが、totoの補助を利用するということで変更不可能との説明であった。今後の管理運用状況をしっかりとチェックしていきたい。

⑤都城クリーンセンター

3月の定例会の一般質問で高齢者等に対するゴミのふれあい収集について質問を行ったが、ゴミ処理に関する問題は数多くあり、今後も一般質問等で改善に向けて提言等を行っていきたい。

研修の質問事項

◎早水体育施設について

- ・サブアリーナ工事の進捗について
- ・施設完成後の大会等誘致予定について（どのような利用ができるようになるのか）
- ・早水運動公園全体の利用イメージについて
- ・防災活動拠点としての役割、利用について
- ・指定管理の在り方について
- ・鷹尾上長飯通線の進捗と道路改良の内容

◎大岩田最終処分場跡地について

- ・施設整備スケジュール
- ・施設の配置について（トイレ等含む）
- ・利用可能人数について
- ・施設の管理について（芝、花畑、パークゴルフ場）
- ・環境への影響と対策、対応について

◎山田クリーンセンターについて

- ・可燃ごみの受入れ実績について
- ・ペット死骸の受入れ状況について
- ・売電の状況と今後の見通しについて
- ・処理能力の現状について
- ・今後予想される大規模な施設管理について
- ・代理者のごみ持込み受入れについて（高齢者等からの依頼など）
- ・クリーンセンター周辺の整備、維持管理の状況について

研修状況



